

令和元年度

市民満足度アンケート調査

自由意見（要約版）に対する市の回答

箕面市

市民サービス政策室

令和元年度 市民満足度アンケート調査 自由意見（要約版） 回答一覧

分野	ご意見の要点	ページ	担当部局室
1. 箕面市全般について	①まちづくり・景観について	2	みどりまちづくり部 地域創造部
2. 健康・福祉について	②市立病院について	3	市立病院事務局
	③医療関係について	4	市民部 健康福祉部 子ども未来創造局
3. 子どものことについて	④子育て支援について	6	子ども未来創造局
	⑤学校生活について	7	子ども未来創造局
4. 人権について	⑥人権活動について	9	子ども未来創造局 人権文化部
5. 環境・みどり・まちづくりについて	⑦道路について	10	みどりまちづくり部
	⑧ごみ問題全般について	11	市民部
	⑨交通の便について	13	地域創造部 みどりまちづくり部
6. 日常生活・地域活動について	⑩図書館・生涯学習施設の利用について	14	子ども未来創造局 人権文化部
7. 市政の情報について	⑪市政に対する意見・要望・相談について	16	市民部

分野	1. 箕面市全般について
ご意見の要点	①まちづくり・景観について

	自由意見	回 答
1	住宅都市として自然環境の良さを前面に出してほしい。	市街地から眺める北摂山系の山なみ景観は、まち全体の大切な財産であると考え、樹木の保全や山の見え方を維持する景観ルールを定めて保全を図っています。また、景観ルールには、道路から見える場所に植栽を植えるなどの項目もあり、住宅地においても庭木等の身近なみどりを活かした景観づくりに取り組んでいます。
2	自然を守り調和ある統一された景観が保たれるまちづくりを進めてほしい。	箕面市景観計画等により、箕面のシンボルである北摂山系の山なみ景観を保全し、箕面森町や彩都などの重点地区や大規模な建物については色彩や緑地の基準等を定めています。今後も、調和ある建物の並びや、背景の山なみへつながるみどりの創出など、まちなみの魅力向上を目指していきます。
3	箕面駅周辺の活性化を図ってほしい。	箕面駅周辺など中心市街地の活性化については、本市のタウンマネジメント組織（TMO）である箕面FMまちそだて(株)や地元商業者等と連携し、商業の活性化や観光・文化資源の活性化等の取り組みを通じてにぎわいと活力あるまちづくりを進めていきます。
4	公共施設が西部に集中している。東部のインフラ整備を進めてほしい。	東部においては、平成24年に小野原東に多世代地域交流センターを、平成25年には小野原西に図書館を併設した多文化交流センターを整備しました。さらに、新たな消防署の追加整備を進めるとともに、第二総合運動場で屋内プールなどの施設整備を予定しています。

分野	2. 健康・福祉について
ご意見の要点	②市立病院について

	自由意見	回 答
1	待ち時間が長い。	<p>混雑している時間帯や患者様の診察内容により時間を要することがあります。進行が遅くなっている場合は、テロップでのお知らせや職員から事情を説明させていただいています。</p> <p>今後も待ち時間の減少に取り組んでいきたいと考えています。</p>
2	医師の異動が激しすぎる。	<p>医師の育成等を目的に、他の病院間で異動することがありますが、患者様の診療に影響がないよう十分な引き継ぎを行います。</p>
3	専門科が少ない。	<p>同規模の病院と比べても遜色はないと認識していますが、今後当院で不足していると思われる診療科については、他の医療機関との連携を含め、安心して診療を受けていただけるよう努めます。</p>

分野	2. 健康・福祉について
ご意見の要点	③医療関係について

自由意見	回 答
1 子どもの受診料を無料にしてほしい。	<p>子どもの受診料の助成については、子どもの医療費助成制度があり、未就学児は大阪府の福祉医療費助成制度の枠組みの中で実施し、高校卒業年齢までの子どもは市が独自で助成しています。</p> <p>大阪府・市町村の厳しい財政状況の中、制度の持続可能性を確保するため、自己負担額の無償化は難しいと考えています。</p>
2 医療費の助成を増やしてほしい。	<p>重度障害者、ひとり親家庭並びに子どもを対象にした福祉医療費助成制度は、大阪府の福祉医療費助成制度の枠組みの中で実施しています。（子どもの医療費助成制度については、一部市独自で助成しています。）</p> <p>大阪府・市町村の厳しい財政状況の中、制度の持続可能性を確保するため、助成拡大は難しいと考えています。</p>
3 妊婦健康診査受診券が他市より少ない。	<p>府内他市の状況を見ながら、令和元年度に100,000円から101,560円に、令和2年度には110,000円に公費助成を増額しました。今後も他市の状況を見ながら公費助成額を検討していきます。</p>
4 女性特有のがん検診の補助はあるのか。	<p>本市が実施する子宮頸がん（対象：20歳以上のかた）・乳がん検診（対象：40歳以上で年度内偶数年齢のかた）は指定医療機関で無料で受診できます。</p>
5 健康年齢を延ばすために年齢に応じた指導を行い、医療費削減につなげられるとよい。	<p>国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査後の特定保健指導の他、希望される市民に疾患予防のための保健指導や健康相談を実施しています。</p> <p>市主催で年間を通じ65歳以上を対象とした様々な種類の健康教室を開催しています。健康寿命を延ばすために、自宅でも実践可能な運動</p>

		や体操をお伝えし、身体状態に応じたアドバイスも行っています。
--	--	--------------------------------

分野	3. 子どものことについて
ご意見の要点	④子育て支援について

自由意見	回 答
1 幼稚園が少なすぎる。	市内の幼稚園・認定こども園は、公立幼稚園4園、私立幼稚園2園、私立認定こども園6園の合計12園ですが、通園先を選ぶにあたっては、市外の園も含め広く選んでいただけます。
2 市営幼稚園を3年保育、弁当ありにしてほしい。	公立幼稚園では、現在4、5歳児の2年保育を実施しています。また週4日午後の保育も実施しており、そのときのお弁当は保護者のかたに作っていただき、お持ちいただいています。 公立幼稚園のあり方について、今後検討していきます。
3 産前産後ケアにもっと力を入れてほしい。	母子とその家族の健やかな生活を支援するためには、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない支援の強化が必要であるため、平成31年4月に子育て世代包括支援センターを開設し、切れ目のない支援を一体的に行う体制を構築しています。また、支援の必要性がある妊婦に対しては出産前から家庭訪問や電話などでの関わりを継続しながら、出産後もできるだけ早期に連絡を取り、不安や悩みにすぐに対応できる体制をとっています。更に、母親の育児不安や孤立感を防ぎ、産後うつを防ぐために、令和元年6月から産後ケア事業を開始し、よりきめ細やかな支援の提供を行っています。 今後も妊産婦のニーズに合った支援が行えるように、あらゆる機会を通じてニーズの把握や事業の周知に努めていきます。

分野	3. 子どものことについて
ご意見の要点	⑤学校生活について

	自由意見	回 答
1	暑さ指数によるプール開放や屋外活動の基準を見直してほしい。	<p>近年、他府県において、学校教育活動中に熱中症による児童の死亡事案や救急搬送事案が相次ぎました。</p> <p>そうした状況を踏まえ、箕面市における熱中症事故予防に係る対策として環境省が発行する「熱中症環境保健マニュアル 2018」や、日本体育協会が示す熱中症予防のための指針等をもとに、「暑さ指数 28℃以上の場合には全ての屋外活動を禁止する」という方針で、一昨年度より取り組んできました。</p> <p>「熱中症環境保健マニュアル 2018」においても、暑さ指数が 28℃を超えると熱中症の発生数が急激に増加し、31℃以上になると運動が控えられ、逆に発症数が激減することが示されていることから、子どもたちの安全を守るためには暑さ指数 28℃以上という基準が適切であると認識しています。</p>
2	校区が広すぎる。小中学校が遠い。	<p>本市は、北大阪急行線延伸と周辺まちづくりの一環として船場地区に小学校を新設（令和 11 年 4 月開校予定）し、その校区を新たに設定することを契機として、全市的に校区の境界を調整しています。その校区調整にあたっては、通学距離を小学校から半径 1 キロ圏内を目安に校区を設定します。</p> <p>なお、新しい校区の運用は、令和 11 年 4 月の予定です。</p>
3	低アレルギー食の給食はおいしくないなので工夫してほしい。	<p>学校給食は安全を最優先に考えて、今の低アレルギー献立給食を実施しています。使用しない食品に代わる食品を使って、様々なメニューを作成し、美味しくなるよう工夫を重ねています。その結果、実際におかずを残す割合（残食率）は、「低アレルギー献立」開始前に比べて低</p>

		くなっています。今後も献立や調理の工夫をしながら、より安全で美味しい給食の実施に努めます。
--	--	---

分野	4. 人権について
ご意見の要点	⑥人権活動について

	自由意見	回 答
1	過度な人権活動は差別を知らせることにつながる。	本市では、ここ数年の間に差別落書きや投書、差別発言がありました。このような行為は人の心を傷つけ、差別や偏見の助長、拡大につながるものです。このように今なお差別意識が存在していることから、人権教育啓発推進法のほか、近年、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法などの法整備も進められています。したがって、必要に応じて公的機関が正確な情報を提供し、差別の解消に向けて行う人権啓発活動は必要であると考えます。
2	様々な国の文化を理解し偏見の少ないまちになってほしい。	（公財）箕面市国際交流協会と協働して、国際協力都市や国際友好都市との交流をはじめ、多民族フェスティバルの開催など様々な取組みを行いながら、異文化理解の促進に努めています。 今後も引き続き、市民の方が様々な文化に触れ、理解が深められる機会を提供していきます。
3	発達障害や自閉症等特性のある子どもたちが温かい支援を受けながら学校に行けるように取り組んでほしい。	どの子どもにとっても過ごしやすいユニバーサルデザインの視点で学校の環境整備に努めるとともに、学級担任、支援学級担任、支援教育介助員等、学年学校全体でチームとして支援が必要な子どもたちの個に応じたサポートを行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を進めています。

分野	5. 環境・みどり・まちづくりについて
ご意見の要点	⑦道路について

	自由意見	回 答
1	自転車用道路を整備してほしい。	<p>本市では、歩行者と自転車の安全確保のため、国の社会資本整備総合交付金を活用して、公共施設や市内の主要な店舗・施設間を結ぶ自転車走行レーンの全市展開を目指し整備を進めています。その手法として、歩行者・自転車・車を分離することを基本としていますが、既存の道路のように自転車走行スペースを新たに確保することが難しい道路においては、車道の端部に青い矢羽根による路面標示を施工する方法により進めています。</p> <p>国からの交付金の動向にもよりますが、今後も計画している道路において順次整備を進め、市内のネットワーク化を完成させる予定です。</p>
2	通学路の安全対策をしてほしい。	<p>本市では、危険箇所・問題箇所の点検活動を、約40年前から実施しています。これは、青少年指導員が中心となって、子どもたちや地域住民、PTA、教職員、市職員、警察など毎年約1,000人が参加し、小学校区ごとに班に分かれて、実際に通学路を歩いて点検するものです。点検活動で報告された危険箇所・問題箇所について、優先的に改善に取り組んでおり、毎年500件以上の危険箇所を改善しています。</p> <p>今後も引き続き通学路の安全対策を行っていきます。</p>

分野	5. 環境・みどり・まちづくりについて
ご意見の要点	⑧ごみ問題全般について

	自由意見	回 答
1	ごみ袋が高い。ごみ袋の価格を見直してほしい。	<p>本市では、ご家庭でのごみの平均排出量に基づき、世帯人数に応じた枚数を毎年無料で配布しています。この枚数内に収めていただければ、個人の負担は発生しませんが、足りない場合は購入していただく必要があります。</p> <p>ごみ袋の価格は、市民一人一人が排出量に応じた負担をしていただくよう、現行の金額となっています。追加の負担が発生しないよう、ぜひごみの減量へのご協力をよろしくお願いいたします。</p>
2	ごみ分別の方法を詳細に表記してほしい。	<p>ごみの分別方法は、市のホームページで詳細を表記し解説しています。</p> <p>また、令和元年7月からリリースしたスマートフォン向け情報アプリ「箕面くらしナビ」でもごみの分別方法について確認することができますので、ご参考にしてください。今後とも表記方法やお知らせ方法について研究、改善に努めます。</p>
3	ごみステーションの場所やネット当番が高齢者の一人暮らしには負担である。	<p>ごみステーションは、快適に利用できるよう、利用されるかたでルールを決めておられます。</p> <p>ごみステーションの環境美化やネット当番などは、自治会をはじめ市民の皆さまのご協力で地域のクリーンな環境が保たれています。ご高齢の一人暮らしのかたにはご負担かとは思いますが、お住まいの地域のかたの協力を得つつ今後ともごみステーションの管理にご協力ください。</p>
4	ごみ袋の容量を見直してほしい。	<p>燃えるごみ袋は、使いやすくするための取り組みとして、街頭アンケート等でご意見の多かった40リットルを追加することとなりました。令和2年8月からの無料配布には20リットルと30リットル、40リットルの3種類となって</p>

		います。今後も市民のご意見を参考に、より使いやすいごみ袋を検討します。
--	--	-------------------------------------

分野	5. 環境・みどり・まちづくりについて
ご意見の要点	⑨交通の便について

	自由意見	回 答
1	東西の交通の便が悪い。	千里中央駅・北千里駅を中心とした現在のバス路線では、市内の東西移動の不便さが市の交通課題ですが、令和5年度開業予定の北大阪急行線延伸に合わせ、新駅を中心としたバス路線の再編により、市内東西移動の利便性向上に向けた検討を行っています。
2	北大阪急行延伸に伴う道路やバスの運用を展開してほしい。	<p>新駅を中心としたバス路線への再編に向けた検討は協議会や分科会の場で行っており、検討に用いた資料や協議結果は市ホームページで公表しています。</p> <p>道路に関しては、北大阪急行線延伸に伴う周辺道路の整備を進めるべく国の社会資本整備総合交付金を活用しながら、都市計画道路「萱野東西線（東部地区、西部地区）」及び「芝如意谷線（萱野東西線以南）」の工事を行っています。</p>
3	オレンジゆずるバスが日祝日は休みなので不便である。	<p>オレンジゆずるバスの運行にあたっては、持続可能な運行とするため、平成22年から実証運行を開始し、効率的なルートやダイヤについて協議会や分科会で検討を重ねてきました。その中で、日祝日ルートは利用者数が少なく収支率も低かったことから廃止も検討しましたが、利便性等を考え、再度の実証運行を経て、平成28年7月から「お買い物バス」として東西それぞれを効率的に循環する現在の運行ルートでの本格運行に移行しました。</p> <p>なお、令和5年度開業予定の北大阪急行線の延伸に向けて市内バス路線網の再編を計画しており、みなさまの利用ニーズ・利用実態に合わせた、オレンジゆずるバスを含む市内バス路線の再編を検討していきます。</p>

分野	6. 日常生活・地域活動について
ご意見の要点	⑩図書館・生涯学習施設の利用について

自由意見	回 答														
1 図書館の閉館時間を延長してほしい。	<p>中央、東、萱野南、西南の4館については、週1回（中央は週2回）閉館時間を午後7時までに延長しています。</p> <p>平成27年度から、中央図書館の開館時間を従来の午前10時から前9時30分へと前倒しし、また全館において、月曜日が祝日・休日にあたる場合は開館を開始しました。平成29年度から、1月4日を開館日としました。</p> <p>令和3年4月開館予定の箕面市立船場図書館では、休館日を減らし、かつ開館時間を延長する予定です。</p>														
2 図書館の蔵書が少ない。	<p>【蔵書冊数について】</p> <p>・箕面市の図書館の蔵書冊数（約81万冊）を北摂各市と比較すると、市民一人あたりの蔵書冊数は最も多いのですが、人口規模に比べて図書館数が多いため、各館に蔵書が分散しています。予約・リクエストサービスや相互貸借により、利用者ニーズに今後も応えていきます。</p> <p>市民一人あたりの蔵書冊数（平成30年度末時点）</p> <p>※摂津市のみ平成29年度末時点</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>箕面市</td> <td>池田市</td> <td>茨木市</td> <td>吹田市</td> <td>摂津市</td> <td>高槻市</td> <td>豊中市</td> </tr> <tr> <td>5.9冊</td> <td>3.8冊</td> <td>4.7冊</td> <td>2.9冊</td> <td>2.6冊</td> <td>4.6冊</td> <td>2.7冊</td> </tr> </table> <p>また、平成29年7月から吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町を新たに加えた北摂地区7市3町で図書館の広域利用ができるようになり、利用対象となる冊数が650万冊まで増加しました。</p> <p>更には、令和3年4月に開館予定の箕面市立船場図書館では、市の蔵書約11万冊と大阪大学外国学図書館の蔵書約60万冊も利用できるようになります。</p>	箕面市	池田市	茨木市	吹田市	摂津市	高槻市	豊中市	5.9冊	3.8冊	4.7冊	2.9冊	2.6冊	4.6冊	2.7冊
箕面市	池田市	茨木市	吹田市	摂津市	高槻市	豊中市									
5.9冊	3.8冊	4.7冊	2.9冊	2.6冊	4.6冊	2.7冊									
3 公民館等で高齢者が集まるイベントがあるとよい。	<p>市内の生涯学習センターでは、高齢者を含めて様々な世代を対象とした「生涯学習講座」を行っています。また、高齢者のみを対象とするものとしては、毎年「箕面シニア塾」を開催しています。（「箕面シニア塾」については、令和2年度の詳細は未定です。）</p>														
4 市民大学や	<p>市では、仕事や子育てを終え、何か新しいことを始めたいと考えて</p>														

	サークルの情報等、定年後の高齢者への機会の提供を望む。	いるかたのために、シニア世代の地域デビュー相談窓口「シニア・ナビ」を設置しています。ご希望をお聞きしながら多様な活動をご紹介しますので、お気軽にお問い合わせください。
--	-----------------------------	---

分野	7. 市政の情報について
ご意見の要点	⑪市政に対する意見・要望・相談について

	自由意見	回 答
1	施策に対する意見や要望が反映される実感がない。	<p>本市では、市民参加条例の理念に基づき、パブリックコメント、eモニター、市民委員等の各種制度や、ホームページに設置している「ご意見箱」など、市民の声を市政に届けるための様々なルートを確立しています。</p> <p>もちろん、すべての意見を市政に反映させることは困難ですが、今後もいただいた意見は情報共有し、市政運営の参考とさせていただきます。</p>
2	日常の困りごとを気軽に相談できる機関があれば周知してほしい。	<p>本市では、法律相談、司法書士相談、税理士相談など専門相談員による市民向けの各種相談事業を実施しています。</p> <p>詳細は市民サービス政策室にお問い合わせいただくか、または広報紙もみじだよりの「各種相談窓口」や市ホームページの「相談」のページ等をご参照ください。</p>
3	不動産に関わる相談機関を広報で知らせてほしい。	<p>宅地建物取引士による無料不動産相談を、毎月（1月除く）第1月曜日の午後に実施しています。</p> <p>市民サービス政策室で受け付けていますので、ご利用の際はご連絡ください。</p>